

「恋人の聖地」記念碑 初披露

大町

市定住促進会議



鷹狩山展望公園に設置された、ハート形の記念碑

人口減少が進む大町市が定住促進や婚活支援に力を入れているとし、「聖地として若者が夢やロマンを育む場所になってほしい」とあいさつした。

挙式した同市の会社員、高田彰彦さん(42)と雅江さん(35)は、同公園がプロポーズの場所。雅江さんは「多くの人に支えられこの日を迎えられた。感無量です」。彰彦さんは「いい記念日になった。記念碑から公園が注目され、地域活性化につながってほしい」と話していた。

大町市などでつくる市定住促進協議会議は2日、北アルプスや市街地を一望できる同市の鷹狩山展望公園で、「恋人の聖地」の記念碑を初披露した。静岡市のNPO法人が昨年4月、愛を深めるのにふさわしいとして聖地に認定。除幕には同公園で結婚式を開いた夫婦も参加した。

記念碑はハート形で、最長縦約1・5メートル、横1・7メートルのステンレス製。信州大の

学生のデザインを基に作られた。牛越徹市長は式典で、